注目！在宅医療関連サービス　019

一般社団法人 願いのくるま

柳谷朋伸・鈴木蓮
森重紗織

048-601-0852

negai.org

埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
LAタワー10F

ビジョン

大切な刻の中で、あなたの行きたい場所へお連れします。

終末期を迎えた方にとって、「もう一度、思い出の場所へ行きたい」「大切な人と同じ景色を見たい」という願いは、人生の最期の時間をその人らしく過ごすための大切な希望です。「願いのくるま」は、ターミナルケアを受けている方を対象に、医療的な配慮と安全確認を行いながら、付添いのもとで外出を支援するボランティア活動です。一般社団法人願いのくるまの柳谷朋伸さん、鈴木蓮さん、森重紗織さんに、活動が生まれた背景、終末期外出支援の具体的な内容、医療・介護との連携、そして一人ひとりの「願い」に寄り添う想いについて伺いました(2026年4月取材)。

終末期外出支援「願いのくるま」誕生の背景と込められた想い

株式会社タウはなぜ「願いのくるま」の活動を始めたのでしょうか。

「願いのくるま」の原点は、2017年に当社の創業者である原田（現・名誉会長）が、オランダのボランティア活動「願いの救急車」を紹介する番組を目にしたことでした。
終末期の患者様が、最期に望む場所へ旅をする様子に感銘を受けた原田は、「車を扱う当社なら日本でも同じような活動ができるのではないか」と考えました。
そこで、2018年1月に終末期の方の「行きたい」「会いたい」という想いを実現するために、医療的な配慮を行いながら付添いで外出を支援する「願いのくるま」の活動が産声を上げました。
この取り組みには、利用者様の願いを叶えるだけでなく、関わる社員一人ひとりが命の尊さや生き方について向き合う機会になってほしいという想いも込められており、一時的な取り組みではなく、目の前の一人ひとりに丁寧に寄り添いながら継続していくことを何より大切にしています。
現在では願いのくるまを起点に、奨学生支援やシングルマザー支援、障がいのあるアーティストの活躍を支える取り組みなど、社会貢献の幅も広がっていますが、いずれも利益を目的とするものではなく、企業としての責任を果たすための活動として位置づけています。
一つひとつの願いに誠実に向き合い続ける姿勢こそが、利用者様や社会に対する私たちの約束であり、その積み重ねが信頼につながっていくのだと考えています。

「願いのくるま」の名前の由来を教えてください。

ネーミングについては社内でさまざまな議論がありましたが、漢字を用いるとどうしても活動としての堅さや形式ばった印象が強くなってしまうため、あえて平仮名で「願いのくるま」と表記することにしました。私たちが大切にしているのは、利用者様やご家族の想いにそっと寄り添う姿勢であり、そのやわらかさや温かさ、安心感を視覚的にも伝えたいと考え、この名前に想いを託しています。

ターミナルケアに寄り添う「願いのくるま」の付添い外出支援

願いのくるまではどのようなサービスを提供しているのですか？

願いのくるまでは、終末期にあり、外出が難しい方の「最期の願い」を叶えるため、付添いのもとでの外出支援を無償で提供しています。
一見すると「行きたい場所へお連れする」というシンプルな活動に見えるかもしれませんが、実際には医療的な配慮が欠かせないため、必要に応じて医師や看護師、介護職などの専門職が同行し、安全性を最優先にしながら、その方にとってかけがえのない時間を実現しています。

2019年度グッドデザイン賞を受賞

ここで、私がこの活動に加わる前のことですが、記念すべき「最初のご利用者様」との出会いについて、今でも事務局で大切に語り継がれているエピソードをご紹介します。
その方は、かつてライブに通うことを楽しみにされていましたが、病気の進行により何度も参加を断念せざるを得ず、「もうあの場所には行けない」と深い喪失感を抱えており、そうした中で「願いのくるま」の存在を知り、私たちにご相談をいただいたのです。

当時は現在のようにスタッフが揃っていたわけではありませんでしたが、「どうしてもこの願いを叶えたい」という想いから、経営陣自らが現場に立ち、試行錯誤を重ねながら実現へと導きました。
初めてターミナルケアの現場に深く身を置き、利用者様の魂の叫びや、ご家族の想いに触れた宮本（現・社長）は、「人生観、死生観が根底から覆されるような経験だった」と後に振り返っています。
その過程で、利用者様の切実な想いやご家族の深い愛情に触れた経験は、関わったメンバーの人生観や死生観を大きく変える出来事となり、この活動に向き合う覚悟と責任の原点となっています。

「願いのくるま」立ち上げ当時

願いのくるまはどのような運営体制で活動されているのですか？

現在は8名の運営事務局を中心に活動しており、そのうち3名の看護師が常駐することで、医療的な視点からの判断やサポートが常に可能な体制を整えています。
現在の対象エリアは関東・東海・関西・九州で、遠方については出張を活用しながら活動しています。本取組みは、社員の人間的成長を後押しすることも目的の一つとしているため、事務局に限らず、各地域の営業拠点の社員にも積極的に参加してもらっています。
事務局という枠を超え、全国の社員が一つの想いで動く姿に触れるたびに…

続きはQRコードからアクセスしてください　→ → →

おうちde医療

在宅医療com株式会社
〒107-0062　東京都港区南青山3-1-36青山丸竹ビル6F
service@zaita9iryou.com